

東日本大震災義援金協力に対する報告とお礼

市民の皆様にご報告とお礼を申し上げます。

3月11日に発生した東日本大震災では、日本の観測史上最大の大地震とそれに伴い発生した大津波によって、多くの人命が犠牲となり、東北地方が壊滅的な被害を受けるなど、未曾有の大災害となりました。

被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方のご冥福を心からお祈りいたします。

本市におきましては、先にご報告いたしましたとおり、直ちに災害復興支援室を設置し、支援体制の整備を進めるとともに、市民の皆様には救援物資や義援金のお願いをして参りました。物資につきましては65,000点のご提供を受け、被災地に発送したところであり、義援金につきましては4月末現在、33,497千円もの寄附をお寄せいただいております。

また、人的支援といたしまして、5月上旬までに看護師1名を岩手県陸前高田市へ、行政職員2名を宮城県気仙沼市へ、保健師1名を宮城県東松島市に派遣しました。今後も全国市長会等からの要請に基づき、人的支援を継続していくこととしております。

この一方で、市内の団体や企業、個人においても、支援の輪が広がりました。募金活動への取り組みや、被災地に職員やボランティアを派遣した団体、さらには現地で無償の炊き出しを行った企業もありました。特に同じ鍾乳洞を持つ市として、縁のある福島県田村市には支援物資と共に市民の皆様からのメッセージをお届けし、田村市長が非常に感激され、直接感謝の意を表されるなど、皆様の思いは現地に届き、被災された方々を勇気づけております。

このような被災地への支援に関する、熱意あふれる取り組みを大変心強く思うとともに、市長として市民の皆様を誇りに思います。改めて温かいご支援とご協力に対しまして、心から感謝を申し上げます。

今回の東日本大震災では、津波による家屋の倒壊、福島第一原発事故による立入禁止区域の拡大や避難指示により、今なお、多くの被災された方が不自由な避難所生活を強いられております。

早期の復興は決して容易ではありませんが、東日本大震災からの一日も早い復興を望む被災地に対し、国を挙げて支援を行うことを強く願っており、義援金の受付を9月30日まで延長することいたしました。

今後も、被災地からの要望に迅速な対応をするとともに、継続的な復興支援に努めるため、美祢市社会福祉協議会等の関係機関と連携を図り、東日本大震災復興支援の輪を広げて参りたいと考えております。

引き続き、市民の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成23年6月1日

美祢市長 村田 弘司



義援金（中間報告）

3月14日から開始した東日本大震災義援金の受付状況（4月末現在）は次のとおりです。

- (1) 日本赤十字社山口県支部美祢市地区（美祢市） **30,438,603** 円
- (2) 山口県共同募金会美祢支会（美祢市社会福祉協議会） **3,057,418** 円

なお、義援金は引き続き**9月末まで**受け付けていますので、皆様のご協力をお願いします。

問合せ先 東北関東大震災復興支援室 ☎0837(52)1110

市長と語る未来創造まちづくり座談会結果報告

昨年度は、市民会館、美東センター、秋吉公民館、赤郷公民館、嘉万公民館で開催してきました。本年度より、座談会での提案の要旨を掲載します。

●開催日等

日時 4月21日(日) 18時～19時30分
会場 伊佐公民館大ホール

●出席者

市：市長、副市長、教育長、部長級職員、事務局(地域情報課)
参加者：37名

●提案内容

【提案】 地域活性化のため、美祢市の観光資源等を活かしたイベント(赤間関街道中道筋ウォーク)の開催について。
美祢市の歴史・文化について。(男性)

【回答】 美祢市において、ラムサール条約に登録されている秋吉台地下水系及び特別天然記念物である秋芳洞、国定公園である秋吉台をしっかりと保護することに加え、市全域の地質資源を守り育て、活かすために世界ジオパークの認定を目指しています。このジオパークの認定には、本市においての観光振興を図る上において、今後大きな役割を果たす組織となり、まさにネットワークづくりの大きな核になると考えています。

まず、今年度「美祢市ジオパーク推進協議会」を立ち上げ、本市の観光振興に寄与する事業者や団体等が連携した継続的な運営体制を構築し、日本ジオパークの認定、5年後には世界ジオパークの認定を目指します。認定を目指すにあたり、市全体の機運を高めるため、市民への周知、意識啓発を図るためのイベントの開催など積極的に実施するとともに、それぞれの地域の歴史・文化など、その土地の特徴にあった資源を有効活用し、地域の活性化を図っていくこととしています。

また、美祢市だけではなく、近隣市とも連携して、観光地の活性化・地域の振興を目指していきたいと考えています。(市長)

【提案】 市内小・中学校の配置、生徒数のバランスについて。(男性)

【回答】 現在、市内には22の小学校と8つの中学校がありますが、行政効率是非常に悪いと考えられます。子供の競争意識を高め、能力向上につながるため小・中学校を統廃合するべきか、地域の文化・地元の誇りの伝承の場として統廃合せず残すのか、非常に重要で難しい問題です。合併して現在までは、地域の疲弊を高めないため統廃合をしない方向で進めてきましたが、今後、子供の人口が減少していく中で、さまざまな課題がでてくるのであれば慎重に検討すべきと考えています。(市長)

【提案】 有害鳥獣対策について。特に猿の集団による被害が拡大しているのので、捕獲等の対策を検討してほしい。(男性)

【回答】 非常に重要・重大な問題だと認識しているのので、山口県市長会に議題として提案しています。ただ、1市だけの問題ではないので、近隣市と協議して対策を検討しているところです。

国においても重要視しており、何らかの対策をとっていく方針であるため、今後、県と協議・連携してこの課題に取り組んでいかなければならないと考えています。(市長)

問合せ先 地域情報課 ☎0837(52)11281

俳句と短歌

【美祢つぼみ句会】

葉桜に 押し上げられし 天守閣
葉桜や ころがし行けり 旅靴

【美祢あさぎり句会】

鶯の 先触れに行く 山路かな
一枚の 肌着をぬげり 若葉風

【美東俳句会】

春の星 星一つ潤めば 又ひとつ
花人は 一輪咲くを 愛で帰る

【秋芳野火句会】

春の野に 遊び春悠 ふとよぎり
花冷や むなしさ語る 大津波

【ホトトギス秋芳句会】

青空を 白木蓮の 突き上げし
麦の秋 風を集めて 音となる

【美祢短歌会】

ゆきかしらまどえばゆるる雪柳春の夕やみ
白く飛び来る

日々育つみどり児花那を抱き上ぐるわが手
におのず力こもりて

雨後の庭勢い得たる雑草にひがな一日
闘い挑む

【秋芳短歌会】

冷えびえと上弦の月の冴え渡る放射能なき
真夜の天球に

空前の津波が襲いしみちのくの惨を映せり
テレビは今日も

暗闇にライトを浴びて大鳥居その存在を
誇示するが如し

前田 時博	松原 正男	平田 和男	長町 保枝	茶川 貞代	伊藤 和子	末永 よね子	鹿嶋 さち	上利 邦子	阿野 泰子	松村 和恵	重富 八重	上田 あき良	土屋 貞城	中洲 なるみ	末富 千恵子
-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	--------	--------